

会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第3回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	平成30年2月16日（金曜日） 午後3時から午後5時まで
3 開催場所	ながおか市民防災センター 2階 研修室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>高野礼子委員長、兒玉優子副委員長、桃生鎮雄委員、 高橋呈子委員、榎園早苗委員、成田涼委員、田邊香織委員、 横澤勝之委員、諏方浩二委員、木村春美委員、内藤純子委員、 長谷川直子委員</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>小池由佳准教授（新潟県立大学）</p> <p>(事務局)</p> <p>子ども未来部：波多部長 ながおか・若者・しごと機構推進課：坂田課長 子ども家庭課：大矢課長、神保課長補佐、鷲頭係長、 五十嵐係長、小林主査 子ども家庭センター：木村係長、郷係長 柿が丘学園：高森園長 保育課：大野課長、石田総括副主幹、 高杉係長、小野塚係長、目黒係長 青少年育成課：伊津課長、丸山係長</p>
5 欠席者名	池田浩委員、櫻井真理委員、布川清行委員、加藤秋子委員、 河野瑞枝委員、片桐直子委員、佐藤紫野委員、 ジョーンズ文穂委員
6 議題	<p>(1) 長岡市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて</p> <p>(2) 平成30年度の長岡市教育・保育施設の利用定員について</p> <p>(3) 「ながおか子どもの発達ガイドブック」(案) について</p>
7 その他	<p>(1) グループワーク</p> <p>(2) まちづくり市民研究所の概要報告</p> <p>(3) 委員から2年間の感想</p> <p>(4) アドバイザーからのまとめ</p>

<p>8 会議結果の概要</p>	<p>議事 (1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.1に基づき説明した。 ・質問・意見等なし <p>議事 (2) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.2に基づき説明した。 ・質問・意見等なし <p>議事 (3) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.3に基づき説明した。 ・質問・意見等は後日受付 <p>その他 (1) ～ (4) については下記内容のとおり</p>
<p>9 会議内容</p>	
<p>1. あいさつ (事務局)</p> <p>2. 議事 (1) 長岡市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて (事務局) 資料No.1「長岡市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」に基づき説明 (質問・意見等なし)</p> <p>3. 議事 (2) 平成30年度の長岡市教育・保育施設の利用定員について (事務局) 資料No.2「平成30年度長岡市教育・保育施設の利用定員について」に基づき説明 (質問・意見等なし)</p> <p>4. 議事 (3) 「ながおか子どもの発達ガイドブック」(案) について (事務局) 資料No.3「ながおか子どもの発達ガイドブック」(案) について事務局から説明 (質問・意見等は後日郵送にて受付)</p> <p>5. その他 (1) 「公募委員発 市民主体の子育て支援～届く・繋がる子育て支援へ～」についてグループワーク</p> <p>①プレゼンテーション 資料「公募委員発 市民主体の子育て支援～届く・繋がる子育て支援へ～」について 委員よりプレゼンテーション</p> <p>②グループワーク 2グループに分かれ、プレゼンされた内容についてアドバイスや意見を出し合った</p> <p>③グループワークで出された意見等の発表 《1グループ》※意見等は下記のとおり</p>	

- ・育児支援について「与えすぎ」と言われているが、実際声を上げられない方がいるので、その方にも支援が届く方法を考えるとよい。
 - ・口コミサイトを窓口とし、そこから繋げていくということは非常に良いのではないかと。
 - ・地域力はとても大切である。高齢者はつながっているが、若い方がコミセンや支援センターなど利用しながら横の繋がりを作り、各地域にある子育ての駅も多世代交流の場となるといいと思う。
 - ・各地域には、いろいろな活動をされている小さな集まり（団体）があるので、その集まり同士が繋がるのがこれからは大切なのではないかと。
 - ・「子育てガイド」などに情報はたくさんあるが、目を通していない、活用してない方が多く、今のお母さん方は、文書よりもメールやサイトの方が情報を受取りやすいようなので、そういうもので発信していければよい。
 - ・お母さんたちは本当にいろいろな悩みがあるので、私達が支援機関につなげてあげられるとよい。また、その悩みは、簡単に話せる内容のものもあれば、人に話しづらい深刻な問題まであるので、配慮が大切。また、悩みの相談は、できればワンストップがよく、一つの支援機関ですべて相談できるとよい。
 - ・マンパワーについて、今、働き方改革で時間が出来た方がいらっしゃるので、その方へつなげていければいいのではないかと。なおかつ、ボランティアではなく「仕事」として協力していただくと、お互いやりやすいのではないかと。また、社会貢献事業として寄付を募ったり、子ども食堂のような形で活動したりしていくのもいいのではないかと。
- 《2グループ》 ※意見等は下記のとおり
- ・マンパワーに関しては、ボランティアをよくされる方へアプローチをすると、そういった方からどんどん広がっていくと思うので、いろいろな人に知っていただけ、協力してくれる方も増えるのではないかと。また、学生に関わってもらい、子どもに関わる勉強をされている方々に関心を持ってもらおうとよい。
 - ・資金の面に関しては、企業や団体に支援を頼んでみるといった事もできるのではないかと、また、実際やってみると、そんなに資金がかからないのではないかと。
 - ・サイトに関しての意見としては、今の時代、個人情報などの壁がありすぎて、なかなか対面での相談も難しくなっているため、顔が見えずに気軽に相談できる、わかりやすい相談サイトなどがあるといいのではないかと。
 - ・アンケート結果から、身近な親や友人にしか悩みを言えない、他人にはあまり相談をしたくないということが見受けられたため、最終的には「繋がり」が大事だということがわかった。繋がりを作るために、なかなかイベントなど交流の場に出てこられない消極的な方には、まずアンケートなどでお話を聞いてみて、少しでも繋がりを持てるようなことを探るなど、やり方を考えてみたらいいのではないかと。子育てをサポートしたい方々と、声を出せない人を引きあわせる、繋がる関係を作ってあげることができればいいのではないかと。また、地域が声をかけてあげることがすごく助けになるので、地域の方々と繋がれることも何か考えていけたらよい。

・まずは、少しずつでもやってみればなんとかなるのではないかな。

6. その他（２）まちづくり市民研究所の概要報告

（委員）

資料「まちづくり市民研究所 第4期報告書『みんなで育てる みんなが育つ ソーシャル子育て長岡版』」について報告

7. その他（３）各委員より感想

（感想）

8. その他（４）アドバイザーからのまとめ

今回の会議でまず印象的だったのは、公募の4名の方がご自分たちで企画してプレゼンされたことです。プレゼンの資料も素晴らしいし、時間を使って練られたんだろうなと思います。委員になるということが、ここで何か発言するだけじゃなくて、ご自分達の事として考えていかれる機会になったというのは、なかなか無いことではないかなと思います。人を支える、支援するというのは、いろいろな問題がありますが、自分だったらどうするかというふうに、自分事におととしていかないと解決はしないと思います。そういう意味では、そういうところに目を向けたというのは素晴らしい事だなと思いました。その中で、先ほど委員長が話されていましたが、私も同じ考えで、皆さんができるところからまず一步踏み出されると、いろんな世界が開けてくると思いますので、まずできるところからやってみられるのがいいかなと思いました。

また、いろいろな活動や事業を、委員の皆さんもされているのでわかると思いますが、最初こういうニーズがあるだろうと思って何かを始めてみると、違うニーズが見えてきたりとか、私達はこっちだと思っていただけ実はこういうニーズもあったんだということがあるので、始めてみて見えてきたことに対応していくといいかなと思います。公募委員の皆さんは子育て中であり、自分達が一番子育て中の人達の気持ちがわかると思うので、自分達がやりたいことをやるといいと思います。周りが何をニーズとして必要としているかというのも大事なんですが、こういう事をしてもらえると嬉しいなとか、自分だったらこうしたいなというところを大事にされると、いろいろなことについてくるのではないかなと思います。ぜひ何か新しい一步が踏み出せることを楽しみにしています。

2年間、アドバイザーという立場で長岡市に来させていただいたことで、皆さんからいろいろな情報をいただいたりとか、長岡市はこういうことに力を入れておられるんだということを見聞きさせていただいたり、非常に貴重な経験になりました。まず委員の皆さんが、非常に前向きにそれぞれの問題に取り組んでおられるということがすごく印象的でした。皆さんの、「他人事にしない姿勢」というのが、会議の一番の力になっていたのではないかなと思います。それぞれのお立場の中で、じゃあ自分達のところだ

ったら何ができるだろうかという風に、自分のことに引き寄せて考えていくという事ができていたのかなと思いました。また、2年間かけて、子育ての課題がこんなにいるいるあるんだなと私自身感じさせていただきました。保育の問題だけじゃなく、思春期のお子さん達にどうアプローチしていくかとか、今年のように、見ようとしないとなかなか視点がそちらに向かないようなお子さん達のところにも、あるいは子育て家庭の保護者の方にもきちんと目を向けていこうよとか、多様な課題があるのだなと思いました。2年間でそういう問題にひとつひとつ向き合ってきたというのは、すごく大きな事だなと思います。また、先ほど委員長もおっしゃいましたが、事務局の皆さんが、そのことに本当に心と時間を割いてくださっているんだなとすごく感じました。何を今長岡市の課題としてこの会議で皆さんと話し合っていくかというのは、本当にたくさん課題がある中で、それを選ぶのもどう進めていくのかというのも大変な事だったと思います。事務局がいつも適切に課題を選んでくださっていたからこそ、委員の皆さんの力も発揮できたのではないかと思います。

この2年間で「子ども・子育て支援法」が始まり、いろいろな制度も充実していますが、子どもが育つ環境は年々良くなっているかという点、残念ながらなかなか厳しいのが現状です。先程も委員がおっしゃっていましたが、子どもの数は減っています。手を打って効果が出るのはきっと数年後、十数年後です。子どもの数が少ないという、今まで日本が経験したことのないこの時代の中で、どうやって子どもを育てていくのか、子ども自身の育ちをどう保障していくのか、障害のあるお子さん達や、経済的に厳しい状況のお子さん達など、課題が深刻化していると思います。社会全体がいろいろな形でゆとりや余裕のない時代になってきていると、子どもとか子育て家庭とか、それだけじゃないいわゆる社会的弱者と言われる人達のところにどうしてもしわ寄せがいきがちです。力のある人たちは社会の中で生きていけますが、そうではない人たちが置いていかれるということが生じやすくなります。子育て中のお母さん達など、弱い立場におかれる方達に対して私達がどれだけ向き合っていけるかというのが、これからとても大事になってくるのではないかと考えております。

最後になりますが、たくさん課題はあるかもしれないけど、ひとつひとつこれからも皆さんと一緒に、一歩でも進んでいけるといいですね。たくさんじゃなくても、ここは良くなったよねとか、成果が見えるような地域づくりに繋がっていけばいいなと思います。どうもありがとうございました。

9. あいさつ
(事務局)

(出席委員の署名欄)

上記会議議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名をする。

長岡市子ども・子育て会議 委員長

⑩

10. 会議資料 別添のとおり